

2008年9月18日

## フッ素樹脂「フルオン®PTFE」の環境適合型新製品「Eシリーズ」を発売開始

**AGC** 旭硝子株式会社

**AGC**（旭硝子株式会社・本社：東京、社長：石村和彦）は、調理器具、電線被覆などに使用されるフッ素樹脂「フルオン®PTFE」の新製品として、乳化剤にPFOA（パーフロオクタン酸：Perfluoro Octanoic Acid）の化合物（アンモニウム塩）を使用しない環境適合型新製品「フルオン®PTFE Eシリーズ」の開発に成功しました。2009年初より販売を開始し、2010年内を目標に従来製品を全て「Eシリーズ」に置き換える計画です。

PFOAは古くからPTFE等のフッ素樹脂の乳化剤等として広く使用されていますが、米国環境保護庁（USEPA）は、2005年1月に、野生生物や人の血液を含め広く環境から検出されているPFOAの安全性に関するドラフトリスク評価報告書を公表しました。加えて2006年1月には、PFOAとPFOA類縁物質、及びこれらの前駆体物質の環境中への排出削減と製品中の含有量削減計画への参加を、フッ素樹脂・フッ素系撥水撥油剤メーカー各社に提案し、各社の支持を得ています。また、最近では、米国カリフォルニア州でPFOA等に関する規制案が議論されるなど、世界的にこれら化学物質への関心が高まりつつあります。

当社ではPFOAへの懸念が公表されて以来、PFOAの環境排出削減を進めるとともに、より環境に優しい製品を求めお客様のご要望にお応えするべく代替品の開発に注力してきました。今般、PFOAに代わる高性能なフッ素樹脂製造用乳化剤の開発に成功したことによって、新規乳化剤を用いて製造したフッ素樹脂「フルオン®PTFE Eシリーズ」の製造が可能となりました。

なお、新規乳化剤は国内化審法、米国有害物質規制法（TSCA）による認証を取得し、EUの新規化学品規制（REACH）についても登録作業中です。

今後は、「フルオン®PTFE」だけでなく、撥水撥油剤「アサヒガード®」など他のフッ素化学製品についても2012年を目標として、全てPFOAフリー製品（フリーとは検出限界未満を意味します）に置き換える計画です。

当社化学品カンパニーでは、「Chemistry for a Blue Planet」をミッションと定め、化学の力を通じて、安全・安心・快適で環境に優しい世の中を創造していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕  
（担当：若杉 TEL：03-3218-5259、E-mail：info-pr@agc.co.jp）

◎フルオン® 専用ウェブサイト  
<http://www.fluon.jp/>

## <用語解説>

### 1. PFOA

PFOAはフッ素樹脂の製造時に重合乳化剤として使用されるが、製品にごく微量不純物として含まれている。

PFOAは野生生物や人の血液を含め広く環境から検出されている物質だが、米国環境保護庁（USEPA）による予備リスク調査や2005年1月に公表されたドラフトリスク評価報告書の発表段階では、PFOAの人体への安全性評価結果はまだ明らかになっていない。

### 2. PFOA類縁物質

PFOAと類似の構造で、炭素数のより大きな物質。例えば炭素数が9のパーフルオロノナン酸、炭素数が10のパーフルオロデカン酸等の総称。

### 3. 前駆体物質

分解により別の物質に変化する物質で、今回の場合ではPFOAやPFOA類縁物質に変化する物質。

### 4. 乳化剤

水と油のような、本来混じり合わないものの境界面で働いて、均一な状態を作る作用を持つもの。

### 5. 化審法

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律。